

- 全面緊急事態で必要となる輸送能力は、自家用車で避難できない住民、観光施設から避難する一時滞在者、合計約1,100人分：バス25台。
- 各事業所の従業員の避難方法については各事業所単位で周知（施設敷地緊急事態で、自家用車により帰宅）。

	想定対象人数※1	想定必要バス数	備考
自家用車での避難ができない住民	928人	21台	一時集結所にて乗車【資料P57】 1台当り46人程度の乗車を想定
観光施設から避難する一時滞在者	157人	4台	バス1台当り46人程度の乗車を想定 1日あたりの観光施設の入場見込み人数1,563人のうち、約9割が自家用車や観光バスで来場する想定で、その1割を想定対象人数として算入。【資料P58】
合 計	1,085人	25台	

※1 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値
※2 民間企業に勤務する就労者は、通勤に使用する自家用車もしくはバス等により避難
※3 想定必要バス数は、瀬戸地域・三崎地域それぞれで必要となるバス数を合算

- 全面緊急事態発生時には、自家用車で避難できない住民、観光施設から避難する一時滞在者のために、伊方町が保有する車両のほか、愛媛県と愛媛県バス協会の協定及び覚書に基づき、バス協会が配備する車両により、必要車両台数を確保。

		確保車両台数	備考
		バス	
(A) 必要車両台数		25台	
(B) 確保車両台数		計25台以上	
確保先	愛媛県のPAZ・UPZ内市町のバス会社	21台以上	愛媛県のPAZ・UPZ内市町のバス会社が保有する車両総数267台
	<small>いかたちょう</small> 伊方町	4台程度	<small>いかたちょう</small> 伊方町が保有する車両11台 (合計186人)の車両を使用

※不測の事態により確保した輸送能力で対応できない場合、関係自治体の要請により実動組織(警察、消防、海保庁、自衛隊)が必要に応じて支援を実施

- 伊方町による全戸訪問調査の結果、瀬戸地域内の自家用車で避難できない住民は合計約340人。
- 自家用車で松前町の避難経路所（松前公園）へ避難が困難な住民は、徒歩で各集会所等に集合し、伊方町又は愛媛県が配車した町内移動用車両で、一時集結所（瀬戸総合体育館）へ移動。

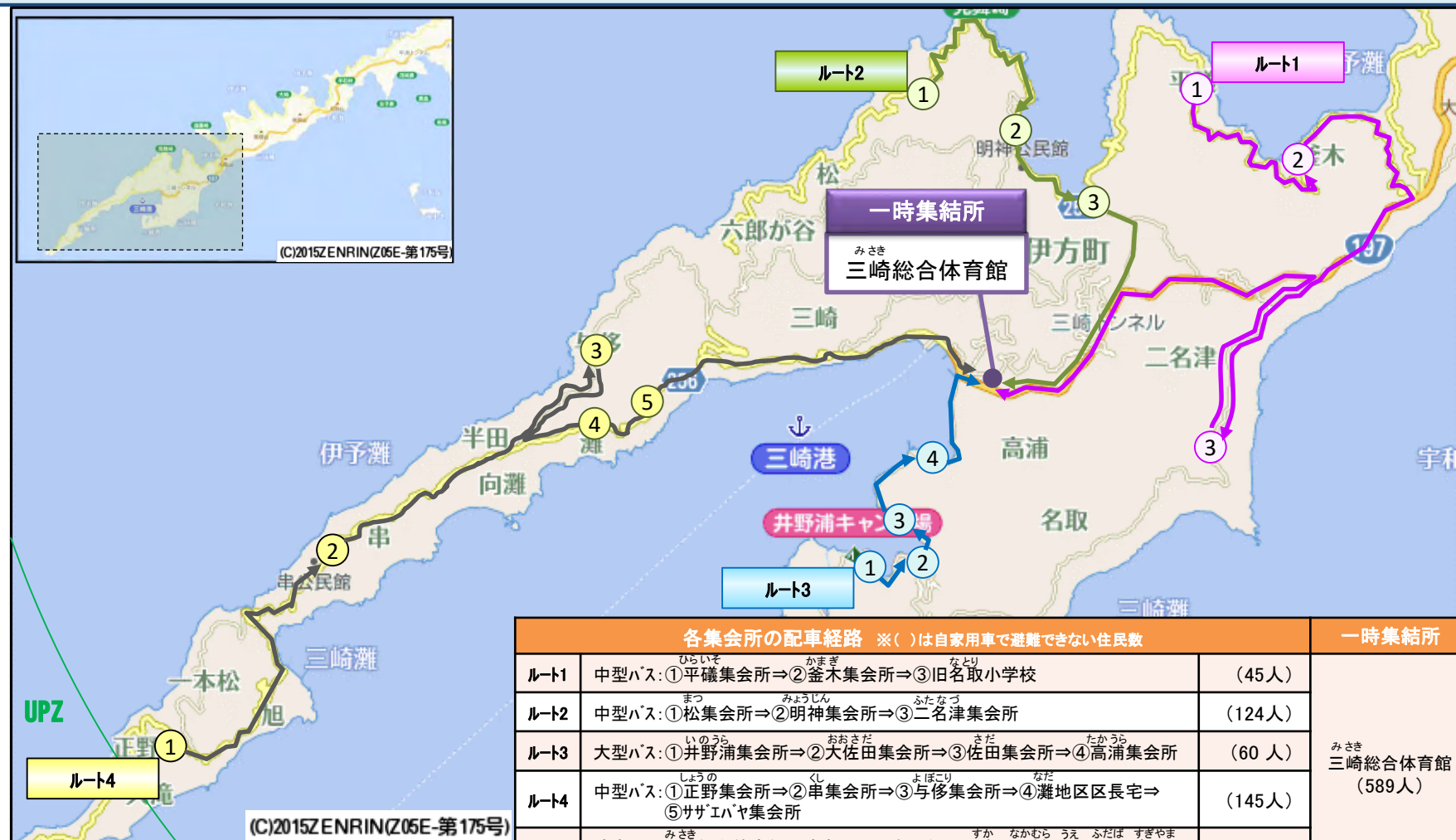


※1 足成集会所、佐市集会所はPAZに位置するため、人数の積算対象外
 ※2 数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値 ※3 ルート1はP42のルート6と同じ

- 伊方町による全戸訪問調査の結果、瀬戸地域内の自家用車で避難できない住民は合計約340人。
- 三崎港から海路避難する場合は、徒歩で各集会所等に集合し、伊方町又は愛媛県が配車した町内移動用車両で、一時集結所（三崎小中学校体育館）へ移動し、三崎港から海路避難。
- 三机港から海路避難する場合は、一時集結所（瀬戸総合体育館）へ移動。



- 伊方町による全戸訪問調査の結果、三崎地域内の自家用車で避難できない住民は合計約590人。
- 自家用車で松前町の避難経路所（松前公園）へ避難が困難な住民は、徒歩で各集会所等に集合し、伊方町又は愛媛県が配車した町内移動用車両で、一時集結所（三崎総合体育館）へ移動。



※数字は現段階で地方公共団体が把握している暫定値

(ケ-1) 予防避難エリアから避難先（避難経路所）までの主な経路

➤ 自然災害等により避難経路が使用できない場合を想定して、あらかじめ複数の経路を設定。

